

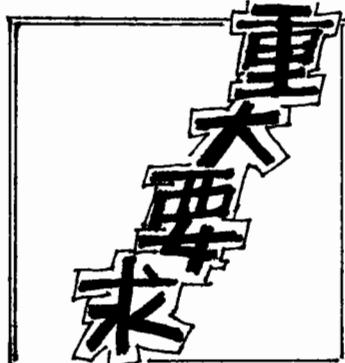
90.10.15 No. 3293



日刊 効率千葉

緊急大事実現にむけ
第17回定期大会改定

現場ならの闘う能率効率



われわれは、「闘いなくして権利なし」という原則に立つて職場からの抵抗闘争をかならずつくりだす。被解雇者の怒りにかえても秋から来春の本部執行部は、その先頭で奮闘する決意である。

われわれは、「闘いなくして権利なし」という原則に立つて職場からの抵抗闘争をかならずつくりだす。被解雇者の怒りにかえても秋から来春の本部執行部は、その先頭で奮闘する決意である。

代議委員・傍聴者二二〇名が結集し、JR当局と

JR総連の横暴で不法・

不当な組織破壊、合理化

に対し全組合員の中にわ

きあがっている怒りと要

求をまとめあげ、その実

現のために腹をすえて總

力でたたかいにたちあが

ることを決定した。

- 二、清算事業団ストライキへの不当処分・損害訴訟を撤回すること。
- 三、総ての強制配転者をすみやかに運転職場に戻すこと。また、現職復帰までの間、乗務員調整賃金を継続すること。
- 四、総ての運転士資格保有者をただちに登用すること。
- 五、運転保安および9.1・3ダイ改について。
- ①業務移管計画を中止すること。
- ②組合要求にもとづいて、各区乗務員仕業を改善すること。
- ③交換周期のキロタイプ廃止計画を中止すること。
- ④運転関係区に教育・訓練および医学適性検査、定期健康診断要員を配置すること。
- ⑤出改札等をはじめとする駅業務の合理化計画を中止すること。
- 六、動力車乗務員が働きつづけることのできる高齢者対策をこうすること。
- 七、組合掲示板の設置、団体交渉員の勤務開放、職場施設の利用など一切

- 二、清算事業団ストライキへの不当処分・損害訴訟を撤回すること。
- 三、総ての強制配転者をすみやかに運転職場に戻すこと。また、現職復帰までの間、乗務員調整賃金を継続すること。
- 四、運転保安および9.1・3ダイ改について。
- ①動力車乗務員の労働条件改悪提案を撤回すること。
- ②組合要求にもとづいて、各区仕業を改善すること。
- ③各区仕業を改善すること。
- ④昇進、昇格および期末手当の支払に関し、組合差別を行わないこと。
- 八、昇進、昇格および期末手当の支払に関し、組合差別を行わないこと。
- 九、社宅入居希望者が、すみやかに入居できる措置を講ずること。

一、地労命令を履行し、清算事業団被解雇組合員を直ちに現職採用すること。

二、清算事業団被解雇組合員を直ちに現職採用すること。

自衛隊の海外派兵阻止!
暗黒の天皇復活反対!

10.20 (於) 東京 会場

定期大会は、さしあまる今秋季闘争に全力で決起することを決定した。政府、自民党は自衛隊を本格的な軍隊につくり変えるべく海外派兵を行しようとしている。「専守防衛」の建前をつくがえし海外派兵という段階に入ろうとしているのだから。これは、侵略以外の戦国化そのものである。参戦している。「天皇の下には、労働者も労働組合もない」とするイデオロギイを黙って許したらどうなるの日本明天はどうなるのか?



朝日新聞 (1985年1月16日付)より

自貿易関係——貨物の組合差別・不当労働行為を中止し、職場における組合活動の自由を保障すること。
1. 運転保安および9.1・3ダイ改について。
1. 動力車乗務員の労働条件改悪提案を撤回すること。

3. JR貨物会社独自の乗務員養成機関を設けること。
4. 昇進、昇格および期末手当の支払に関し、組合差別を行わないこと。
5. ただちに乗車証制度を設けること。
6. 社宅入居希望者が、すみやかに入居できる措置を講ずること。

自衛隊の海外派兵と合わせ考えたとき恐るべき情勢が到来していることが良くわかる。
今が、肝心なときである。
今秋、一人でも多くの者が声をあげ、たちあがることが求められている。「一〇・二〇シンポジューム」からはじまる秋季闘争に全力でたちあがらうではないか。
まず、行動である。そのための討論を実施しよう。